日刊 動労千葉

83, 10, 1

No. 1456

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二(22)七二〇七

臨調・行革粉砕！　三里塚ジェット闘争勝利！

座談会 三里塚・ジェット闘争の5年間をふりかえって

敵の最大の弱点（三里塚と国鉄）で中曽根を撃て！

動労千葉の「反合・三里塚」路線の核心

定期大会成功への職場討論の深化のために ⑦

「国鉄」攻撃に、動労千葉が風穴をあけるべきだ

（司会）
ジェット燃料の貨車輸送が、本年八月八日パイプライン供用開始をもって、新たな段階に入った現在、闘いの原点をほりおこし更なる飛躍と前進をかちとっていくために、今回の座談会を計画したわけですが、今日のわれわれをとりまく国鉄情勢についてどう感じているのか出してほしいと思います。

（M さん・成田・電運士・36才）
今日の「国鉄」攻撃は、一口にいってふざけている。労働組合を弱体化させ、闘争をさせないで産報化させる攻撃だと思う。水面下にいるのでなく、飛び出して闘い、動労千葉が風穴をあけていくべきだ。81・3を闘った動労千葉じゃないですか。

（P さん・銚子・電運士・36才）
異常だと思う。労働組合を弾圧することしか考えていない当局は末期的だ。これ以上やれば立ち上らざるを得ないと思う。

（K さん・蘇我・機関士・24才）
入社当時から比べれば職場内の規律もうるさくなっている。これからずっと押されていってはいけないと思う。

（J さん・蘇我・機関士・39才）
去年の行革から始まり、国鉄への風当りが強い。制服を着て歩けないけど、これ以上のことはないと思います。

（N さん・佐倉・機関士・44才）
当局も対組合との力関係を逆転しようとしているのではないか。どこで歯止めをかけられるかだと思います。

労農連帯＝「81・3闘争」の地平を労働運動の中に拡大しよう

（〇さん・佐倉・機関士・35才）
国鉄に対してかけられている攻撃は、中曽根の「上からの内乱攻撃」です。中曽根内閣が「戦後政治の総決算」を強調しているように、軍事大国化・改憲攻撃の最大の焦点が国鉄労働運動解体にある以上、この攻撃は終わらないと思う。労働者に奴隷になれという攻撃であり、屈服すれば大変な時代になります。怒りは心頭に達していますが、逆に、闘いの決戦場がせまってきており、労働組合の真価が問われる時代に入っていると感じています。

（本部）
この一年ほどの間に、約六万人の処分が出ています。最近の処分は、上野駅の「三百円事件」で免職、西船橋では就寝前の「缶ビール一本」を現認されて停職六カ月というように、リボンや入浴闘争といった組合運動への処分から、個人の行動についても職場内からタレコミ摘発を煽るようなところまでエスカレートしてきています。これは、「組合とは関係ないから闘わない」ということですませれば、不信感や敗北感がまん延することを狙った労働組合・労働者分断の攻撃です。敵の狙いは、労働者・労働組合から反撃力を完全にぬき去ること、しようがないからとあきらめていかせる事にあることは明らかです。

そもそも、反動中曽根の攻撃のやり方が、そうなんです。彼が「戦後政治の総決算」を叫んでやろうとしている事が、この事なのです。国民全てをあきらめムードの中に強引に叩き込んで、政府のいいなりになるような人間・体制づくりを狙っているからこそ、やつらは、戦後最強の闘いの砦となっている三里塚と国鉄労働運動にイチかバチかの集中攻撃をかけてきているわけです。逆にいえば、ここが中曽根の最大の弱点だということです。ここを決戦場として大爆発をかちとっていけば、中曽根の路線は大打撃をうけて破綻し、広範な労働者・人民は自信と反撃力を再生させていくことができると確信しています。動労千葉の「反合・三里塚」路線の核心がここにあるといえます。

10・5～6 定期大会の成功かちとり、10・9 三里塚に全力で決起しよう

（司会）
本日の討論でも出されたように、賃下げ、合理化や職場の既得権剥奪攻撃も、まちがいなく「政治問題」としてかけられてきており、中曽根の反動路線との全面対決をはらむものであるといえると思います。

動労千葉一三〇〇が命運をかけて闘った「81・3ジェットスト」の正義性・勝利性がますます浮かび上ってきていると思います。

そして、この八月をもってジェット燃料輸送は終りました。動労千葉がどういう路線と体制をうち立てて進むのかが、内外から注目されています。10・5～6、第八回定期大会の大成功をかちとり、それを高く掲げて10・9三里塚集会で全国の闘う労農学人民に鮮明にさし示そうではありませんか。

三里塚労農連帯―分離独立―81・3闘争の成果をひっさげ、この路線をとりわけ労働運動本隊の中に拡大していくことが動労千葉の任務だと思います。本日は大変ごくろうさまでした。

（以上、九月十四日開催された座談会第二テーマ「三里塚・ジェット闘争」の要旨紹介を終了します）

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！